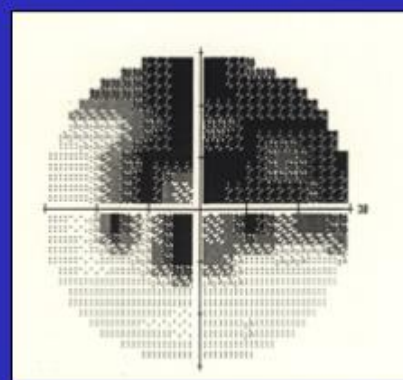
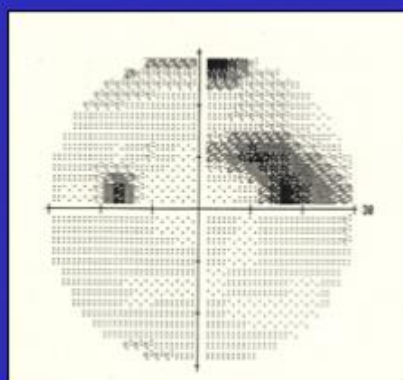
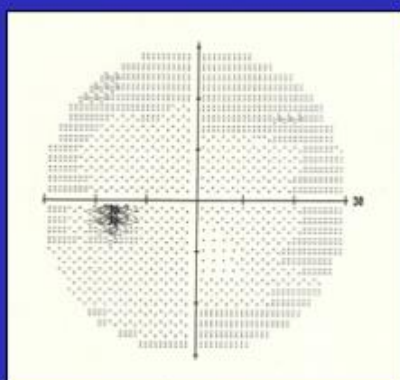


## 【眼の病気のおはなし】 その③ 視神経と緑内障

眼球の中に届いた光は視細胞で感知され視神経線維をたどって脳に届きます。緑内障は視神経線維が脱落して光を感じる力が減ってしまう病気です。眼底検査では視神経の大きさと形をみて緑内障を判定します。視神経の出入り口では神経が束になってわずかに隆起しており、これを乳頭と呼びます。視神経は年齢や疾病によって次第に萎縮していきます。萎縮が進行すると、光を感じる感度が低下して見えない場所（暗点）を生じます。初期の緑内障は自覚症状がほとんど無く、検診で初めて発見されることも少なくありません。人間ドックなどで疑いと判定された方は眼科を受診して視野検査と眼底検査を行いましょう。

### 視野の変化（緑内障）



視野異常の進行のようす（初期・中期・後期）